

#### 施工業者様へのお願い

お使いになる人や財産への損害を未然に防止するため必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

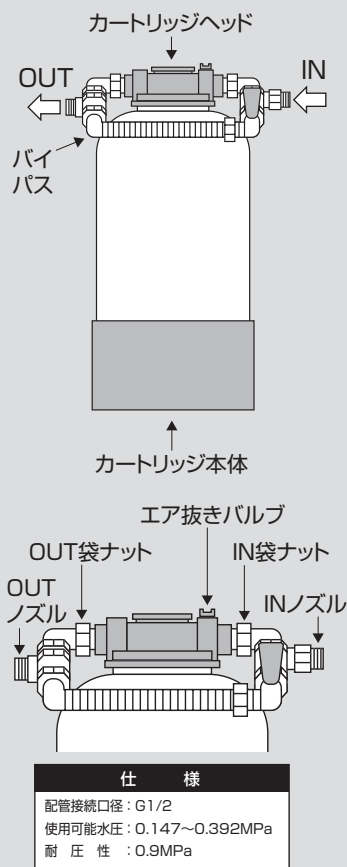
- 警告** 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容です。
- 注意** 傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容です。
- 「注意」事項は、状況により重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分して説明しています。
- ! この表示は、必ず守って実行していただく「強制」内容です。
- ⊘ この表示は、してはいけない「禁止」内容です。

**警告**  
水道水の飲用基準に適合した水でご使用ください。  
水道水以外の水で病原菌等が混入しているとそれが原因で健康障害を生じるおそれがあります。

- 注意**
- ! 取付け工事は水道法、建築基準法、その他の法令および地方自治体の法令、規則など各種法令に則って行なってください。
- ! 使用可能水圧の範囲で据付けてください。
- ! 純水器の給水側には必ず止水栓を取り付けてください
- ⊘ この純水器は寒冷地仕様ではありません。凍結の恐れのある地域ではお使いにならないでください
- ⊘ 床面が防水処理されていないところでは、据付けしないでください。

**お客様へのお願い** この施工説明書は、施工業者を対象にしたものです。お客様ご自身での据付けはしないでください。

#### 各部名称



#### 施工業者様で ご用意いただく部品

- フレキ配管……………2本
- 止水栓……………2個
- 片ナット付チース……………2個

◆水道工事 給水接続・給水栓の施工に際して、止水栓・分岐用部品、配管部材などの施工部品は、設置工事をされる側でご用意ください。  
※フレキ配管は、必ず日本水道協会型式登録品をご使用ください。

**注意**  
**水圧点検**

- 1 水道工事に取りかかる前に必ず水道圧を測定してください。
- 2 水圧が0.392MPaより高い所では、必ず水用減圧弁を取り付けてください。(それ以下の場合でも、ウォーターハンマーなどによって0.392MPaを超えることがありますので、水用減圧弁の取り付けをおすすめします。)

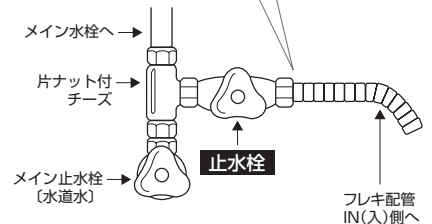
運転時重量：22.5Kg

# 施工手順

## 1 水道工事

- メイン止水栓より片ナット付チースで分岐し止水栓を取り付けてください。

止水栓の位置、IN(入)側への給水接続用フレキ配管の長さは、カートリッジ交換等のメンテナンスのしやすさを考慮して設置してください。(約1m以内)フレキ配管が長い場合、水道水の流りに支障をきたさない範囲で丸めて使用してください。その場合、金属性フレキ配管の折損には特にご注意ください。

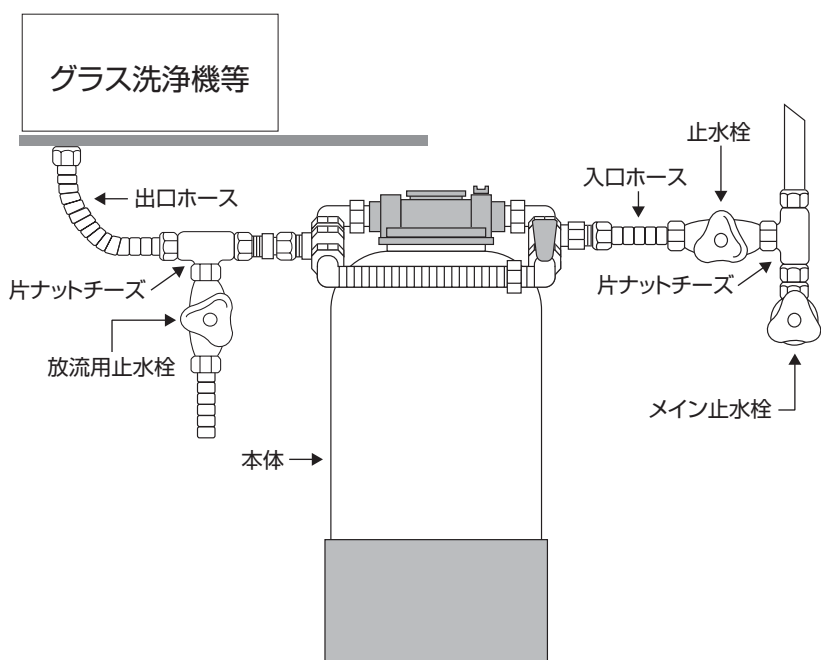


止水栓は、カートリッジ交換などのアフターメンテナンスに必要です。止水栓を専用に取り付けて、給水取り出しを行なってください。

## 2 取り付け方

取り付け位置は、止水栓または、その他の給水器具への接続距離、メンテナンス性の良さを考慮して、立てた状態で設置してください。

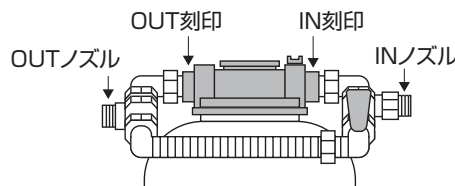
#### 給水接続全体図 (例)



! 転倒することが無いよう、平らな床面に設置してください。

! OUT(出)・IN(入)の接続を間違わないでください。

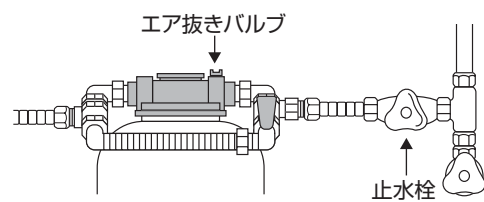
- 1 OUT(出)側ノズルと、熱機器またはその他の給水器具をフレキ配管で接続してください。
- 2 止水栓と、もう一方のIN(入)側ノズルをフレキ配管で接続してください。



! 配管作業時は接続部にバックンが取り付けられていることを必ず確認してください。

- 本体と給水器具は、1対1としてください。
- 本体から給水器具までの配管は1m以内になるようにしてください。
- 本体以降の配管は、土・床・壁等に埋設しないでください。

## 3 エア抜き方法

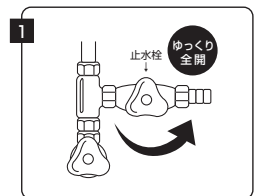


- 1 エア抜きバルブを緩める。
- 2 止水栓を少し開き徐々に水を入れる。
- 3 内部のエアが抜け、エア抜きバルブより水が出たらエア抜きバルブを閉める。
- 4 止水栓を閉じる。

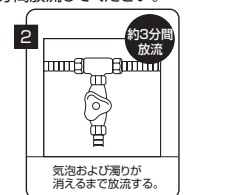
! エア抜きバルブは工具等を使い強く締めすぎると破損の恐れがあります。エア抜きバルブを閉めるときは、工具を使用せず手で閉めてください。

## 4 通水と水漏れチェック

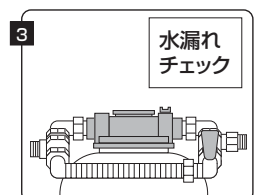
- 1 放流用止水栓を「全開」にし、止水栓をゆっくりと全開にする。



- 2 この状態のまま、水が清澄になるまで、約3分間放流してください。



- 3 放流が終了後、放流用止水栓を「閉」にし、本体及び配管各部より水漏れがないかを確認してください。



本体より水漏れがある場合は、クリタック(株)までお問い合わせのうえ、適切な処置を施してください。

#### 施工後の チェック

- 据付日 年 月 日
- 1 水道圧が0.392MPa以下になっていますか?.....
  - 2 同梱部品以外のものは使われていませんか?.....
  - 3 水漏れはありませんか?.....

#### 引き渡し

- 1 据付後、長時間で使用されないときは、取扱説明書にもとづいて止水栓を閉じてください。
- 2 取扱説明書でお客様に次のことを説明してください。
  - 使い方・安全上のご注意について十分説明してください。
  - カートリッジの交換は、クリタック(株)指定の特約店にご相談ください。
  - この施工説明書はご依頼主にお渡しください。

発売元

**KURITA**  
クリタック株式会社

本社 / 〒160-0022 東京都新宿区新宿2-3-11  
☎03-5379-1204 FAX03-5379-1382